第12回津軽地域ごみ処理広域化協議会（会議録）

開催日	令和7年2月4日（火）	時間	午前10時～	
開催場所	弘前地区環境整備センター管理棟3階 大会議室			
出席者 （6人）	弘前市長	黒石市長	平川市長	藤崎町長
	櫻田 宏	高樋 憲	長尾 忠行	平田 博幸
	大鰐町長	板柳町長	田舎館村長	西目屋村長
	山田 年伸	（欠席）	品川 新一	（欠席）

【津軽地域ごみ処理広域化協議会事務局】

役職	氏名	備考
局長	佐藤 真紀	弘前地区環境整備事務組合 事務局長
次長	吹田 稔	弘前地区環境整備事務組合 総務課長
次長補佐	鎌田 敏徳	弘前地区環境整備事務組合 総務課参事兼課長補佐
次長補佐	福土 幸司	黒石地区清掃施設組合 事務局次長補佐
主幹	村上 真知子	弘前地区環境整備事務組合 総務課主幹
主査	齊藤 賢幸	弘前地区環境整備事務組合 総務課主査
主任主事	竹内 祐貴	弘前地区環境整備事務組合 総務課主任主事

【弘前地区環境整備事務組合事務局・黒石地区清掃施設組合事務局】

所属	役職	氏名
弘前地区環境整備事務組合	施設管理課長	蒔苗 篤
弘前地区環境整備事務組合	施設管理課長補佐	丹代 喜代一
弘前地区環境整備事務組合	施設管理係主幹	内山 真徳
弘前地区環境整備事務組合	総務課総括主幹兼管理係長	鳴海 雅剛
黒石地区清掃施設組合	事務局長	八木橋 寿
黒石地区清掃施設組合	事務局次長	高田 正徳

【取材報道機関】

東奥日報社、陸奥新報社

【1 開会】

事務局次長 吹田 稔

定刻となりましたので、ただいまから、第12回津軽地域ごみ処理広域化協議会を開催いたします。

進行役を務めさせていただきます、協議会事務局次長の吹田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速会議に入りたいと思いますが、協議会会則第7条第1項に基づきまして、会議の議長を櫻田弘前市長にお願いしたいと思っております。櫻田市長よろしくお願いいたします。

議長（弘前市長 櫻田 宏）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

当協議会においては、昨年度末までに全101項目の協議を終え、今年度はその他の細部調整を進めるとともに、令和8年4月からのごみ処理広域化に向けた組合規約の変更について調整を行ってきたところであります。

本日は、広域化協議会事務局の運営に関する令和5年度決算及び、令和7年度予算案、並びに、広域化協議の集大成となる「弘前地区環境整備事務組合規約」の変更について協議いただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、暫時、議長を務めさせていただきます。本日の出席者は6名で定足数に達しております。よって、直ちに会議を開きます。

はじめに、昨年11月、新しく田舎館村長に就任され、協議会への出席は初めてとなる品川新一村長から、一言ご挨拶をお願いいたします。

田舎館村長 品川 新一

鈴木前村長に代わりまして、去年の11月から田舎館村長に就任いたしました、品川新一と申します。よろしくお願いいたします。

【2 報告】

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ありがとうございました。

それでは、早速協議に入ります。次第2の報告「(1) 令和5年度事務局運営費決算」について、事務局から説明を求めます。

事務局長 佐藤 真紀

事務局長の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、「(1) 令和5年度事務局運営費決算」について、ご説明いたしますので、資料1をご覧ください。

まず、太枠の「本年度決算額」欄であります、「歳入の部」、「歳出の部」ともに38万5千円となっております、歳入から歳出を差し引いた不用額は0円となっております。

詳細についてご説明いたしますので、「2 歳出の部」をご覧願います。上から科目順にご説明いたします。

まず「旅費」であります、当初予算額1万2千円に対し、決算額は無く、全額を他の科目へ流用しております。決算額が無かった理由といたしましては、各市町村との打合せ会議等に係る管内旅費として予算計上しておりましたが、会議等への移動手段として、公用車を使用したことによるものであります。

次に、「需用費」であります、当初予算額16万2千円に対し、決算額は17万7千452円となっております。こちらは、会議資料作成等に係る事務用消耗品代が当初の想定を上回ったことによるものであり、使用料及び賃借料からの予算流用で対応しております。

次に、「役務費」であります、当初予算額6万9千円に対し、決算額は9万8千512円となっております。こちらは、各市町村への会議資料送付などに係る切手代が当初の想定を上回ったことによるものであり、使用料及び賃借料からの予算流用で対応しております。

次に、「使用料及び賃借料」であります、当初予算額14万2千円に対し、決算額は10万9千36円となっております。こちらは、会議資料作成等に係る複写機使用料が当初の想定を下回ったことによるものであり、不用額は他の科目へ流用しております。

次に、「1 歳入の部」をご覧願います。

歳出予算に対応する歳入予算は、全て8市町村からの負担金となっております、当初予算額38万5千円に対し、決算額も同額となっております。

(1)「令和5年度事務局運営費決算」についての説明は以上となります。

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ただいまの説明について、ご質問がありましたら、ご発言をいただきたいと思っております。

（「なし。」との発言あり）

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ご意見がないようですので、報告「(1) 令和5年度事務局運営費決算」については以上となります。

【3 案件】

議長（弘前市長 櫻田 宏）

次に、次第3の案件「(1) 令和7年度事務局運営費予算（案）」について、事務局から説明を求めます。

事務局長 佐藤 真紀

それでは、案件（１）「令和７年度事務局運営費予算（案）」について、ご説明いたしますので、資料２をご覧ください。

まず、太枠の「本年度予算額」欄ではありますが、「歳入の部」、「歳出の部」ともに５５万７千円となっております。

詳細についてご説明いたしますので、「２ 歳出の部」をご覧ください。上から科目順にご説明いたします。まず、「旅費」ではありますが、プラスチック資源一括回収にかかる再商品化計画策定のため、環境省との事前協議に必要な普通旅費を計上しておりまして、予算額は前年度と比較して皆増の１０万４千円としております。

次に、「需用費」ではありますが、会議資料作成等に係る事務用消耗品代及び公用車使用に係る移動用燃料費を計上しておりまして、予算額は前年度と同額の２３万円としております。

次に、「役務費」ではありますが、各市町村への電話連絡などに係る通信運搬費及び切手代を計上しておりまして、予算額は前年度と同額の６万９千円としております。

次に、「使用料及び賃借料」ではありますが、会議資料作成等に係る複写機使用料及び構成市町村間の事務連絡用ビジネスチャットツール「ロゴチャット」のライセンス使用料を計上しておりまして、予算額は前年度と比較して７千円減額の１５万４千円としております。

次に、「１ 歳入の部」をご覧ください。歳出予算に対応する歳入予算は、全て８市町村からの負担金となっております。負担金については、津軽地域ごみ処理広域化協議会事務局設置要綱で各市町村が人口割８０％、均等割２０％で負担することが定められております。

資料２の下段には、参考といたしまして、各市町村負担金算出根拠をお示ししておりますので、ご参照くださるようお願いいたします。

（１）「令和７年度事務局運営費予算（案）」についての説明は以上となります。

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ただいまの説明について、ご質問がありましたら、ご発言をいただきたいと思っております。

（「なし。」との発言あり）

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ご意見がないようですので、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「なし。」との発言あり）

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ご異議なしと認めます。

よって、案件「（１）令和７年度事務局運営費予算（案）」については、原案のとおり決定されました。

次に、案件「（２）弘前地区環境整備事務組合規約の変更」について、事務局から説明を求めます。

事務局長 佐藤 真紀

「案件（２）弘前地区環境整備事務組合規約の変更」についてご説明いたしますので、資料３をご覧ください。

まず、「１ 背景」であります。弘前地区環境整備事務組合及び黒石地区清掃施設組合の関係８市町村による、津軽地域ごみ処理広域化協議会では、昨年２月の協議会をもって全ての協議項目の調整を終えたところです。

このことから、次の段階といたしまして、広域化のための事務手続きを進めていく必要があります。この手続きについては、弘前地区環境整備事務組合の規約を変更することで対応したいと考えておりますので、本日はその内容についてご説明させていただくものです。

次に、「２ 規約変更理由」であります。変更理由は大きく分けて３点ございます。１点目が、組合の構成市町村に黒石市及び田舎館村を追加するため、２点目が、共同処理する事務の区域に、黒石市及び田舎館村のほか、平川市の旧尾上町地区、藤崎町の旧常盤村地区を追加するため、３点目が、議員の定数及び選出方法や、副管理者の選出方法など所要の改正を行うためであります。

続いて、「３ 規約変更に係るスケジュール」であります。まず、すでに完了したスケジュールであります。昨年２月に開催した第１１回協議会において、ごみ処理広域化に係る全ての協議項目の協議が終了しております。

これを受け、事務局で規約変更の素案を作成いたしまして、昨年８月に青森県に対して事前審査を依頼し、内容を確認いただいております。

また、事前審査を終えた素案につきましては、昨年１０月の第２１回幹事会において、各市町村の幹事会委員の皆様にお示ししております。

次に、今後のスケジュールであります。本日の協議会において委員の皆様にご了承をいただければ、来月には事務局から８市町村に対し、規約変更に係る協議依頼文書や議案例を送付する予定としております。

これを受けまして、８市町村では令和７年６月の議会定例会に関連する議案をご提出いただき、議員の皆様にご審議いただくこととなります。議案審議の結果、全ての市町村で議決を得ることができましたら、翌７月頃に必要書類を整え、８月上旬には青森県へ規約変更許可申請を行う流れを予定しております。

次に、「４ 規約変更内容」であります。別に配布している「資料３－１ 新旧対照表」をご覧ください。表の右側が現在の規約、左側が変更後の規約案であります。朱書きの変更箇所についてご説明いたします。「第２条 組合を組織する地方公共団体」は、黒石市及び田舎館村が加わり、３市３町２村となります。

「第３条 組合の共同処理する事務」は、これまでは平川市と藤崎町で一部地域のみを処理区域としておりましたが、旧尾上町地区と旧常盤村地区が加わるこ

とで全域が処理区域となります。「第5条 議会の議員の定数」は、17人から15人となります。「第6条 議会の議員の選出方法」は、弘前市議会からの選出議員を6人、黒石市及び平川市議会からの選出議員を各2人、その他の町村議会の選出議員を各1人としております。「第7条 議員の任期」は、広域化後、市町村長が議員として選出されることがなくなるため、これに関連する字句を削除するものです。2ページをご覧ください。「第10条」では、副管理者を7人設置し、管理者である弘前市長以外の市町村長をもって充てることとしております。3ページをご覧ください。附則として、「1 施行期日」は令和8年4月1日としております。4ページをご覧ください。「2 経過措置」には、今回の規約変更に伴い弘前市議会選出議員の定数が減少となりますが、現在選出いただいている議員については任期まで在任することを定めております。「3 準備行為」には、広域化に必要となる準備行為について、規約の施行日前でも行うことができる旨を定めております。

最後に、「資料3-2 協議書」をご覧ください。こちらは、市町村での議案審議の結果、全ての市町村で議決を得ることができた場合に、全市町村長の記名、押印をいただくことで、本件に関する協議が成立したことを証明するための書式となります。記載されている内容は、ただいまご説明いたしました規約変更内容と同様となりますので、省略させていただきます。「資料3 弘前地区環境整備事務組合格約の変更について」の説明は以上となります。

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ただいまの説明について、ご質問がありましたら、ご発言をいただきたいと思っております。

（「なし。」との発言あり）

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ご意見がないようですので、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「なし。」との発言あり）

議長（弘前市長 櫻田 宏）

ご異議なしと認めます。

よって、案件「(2) 弘前地区環境整備事務組合格約の変更」は原案のとおり決定されました。

【4 その他】

議長（弘前市長 櫻田 宏）

最後に、次第4の「その他」として、委員の皆様からご意見等がありましたら、

ご発言をいただきたいと思います。

(「なし。」との発言あり)

議長 (弘前市長 櫻田 宏)

最後に事務局から連絡事項はありませんか。

事務局長 佐藤 真紀

事務局から、今後の協議会の開催予定について、ご連絡いたします。

次回協議会は、時期未定ではありますが、組合規約の改正案の協議や、その他必要に応じてご参集いただく予定としておりますので、よろしく願いいたします。

【5 閉 会】

議長 (弘前市長 櫻田 宏)

以上をもちまして、第12回津軽地域ごみ処理広域化協議会を閉会いたします。大変お疲れ様でございました。

以上

(午前10時20分終了)